2026 年 11 月 10 日
一般社団法人日本損害保険協会　東北支部

宮城県事故多発交差点において
県・県警等と交通事故防止の街頭啓発活動を実施
～共同制作した啓発チラシ・反射材を広瀬晩翠通交差点（県内ワースト 1 位）で配布～

日本損害保険協会東北支部（委員長：菊田 政寛・損害保険ジャパン株式会社 執行役員東北エリア本部長）は、10 月 26 日（月）15 時半から 2025 年中の事故多発交差点ワースト 1 位である広瀬晩翠通交差点（仙台市青葉区）において、啓発チラシ・反射材を配布し、街頭啓発活動を行いました。

当支部は宮城県および宮城県警と連携し、自転車利用者向けに事故防止を訴えた注意喚起チラシを毎年作成しています。今年度のチラシは 4 月からの交通反則通告制度の導入に加え、飲酒運転の防止やヘルメット着用も呼びかける内容となっています。また、仙台・宮城観光 PR キャラクター「むすび丸」や宮城県警のマスコット「みやぎくん」が掲載された反射材を今年度初めて制作しました。啓発チラシは県に 25,000 部、県警に 15,000 部、反射材は県に 500 部、県警に 4,000 部を提供し、各警察署における高齢者宅訪問や自治体での出前講座などにおいて活用いただくこととしています。

広瀬晩翠通交差点における街頭啓発活動では、あいにくの雨模様の中、県や県警に仙台中央警察署、仙台中央地区地域交通安全活動推進委員協議会などの関係者も加わり、総勢約 30 名で自転車運転者、歩行者に対して啓発チラシ・反射材を配布し、注意喚起を行いました。本交差点は、恒常的に渋滞が発生しているとともに、繁華街に近く土日も人や自転車の往来が多い交差点です。横断中の自転車との衝突事故も発生しており、1 件でも悲惨な事故を減らしたいとの想いで、通行者に注意喚起を行いました。

当支部では引き続き、関係機関と連携し、事故防止・軽減に向けた取組みを推進していきます。

＊街頭啓発活動の当日は、宮城テレビ、東北放送、河北新報および読売新聞から取材がありました。





啓発活動の様子



共同制作した反射材



宮城県版チラシ
（左：表面、右：裏面）

チラシの PDF は以下からご覧いただけます。
https://www.sonpo.or.jp/news/branch/tohoku/2026/pdf/2611_chirashi.pdf